

誤

4-3 標準歩掛
 4-3-1 基本設計
 1. 用地造成基本設計
 1) 用地造成 100ha 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計								一般的な業務内容の設計							
	直接人件費								直接人件費							
	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工
現地調査		3.5	4.5	4.5						3.0	4.5	4.0				
用地造成設計																
①平面縦横断設計	3.5	3.0	2.5	5.0	7.5	7.5	4.0	11.5	3.0	2.5	2.5	5.0	7.5	7.0	3.5	11.5
②全体土工量の検討		2.0	1.5	2.0	4.0	2.0	2.0			1.5	1.5	2.0	4.0	2.0	1.5	
③ゾーニングの検討			1.0	2.0	2.0	0.5		1.5			1.0	2.0	1.5	0.5		1.5
④切盛土構造設計	4.0	4.0	6.0	10.0	16.0	10.0	8.5	3.5	3.5	3.5	5.5	9.5	15.5	9.5	8.0	3.5
排水設計		5.5	9.5	14.0	19.5	16.5	10.0	7.0		4.5	8.5	13.0	19.0	16.0	9.0	7.0
附帯施設設計																
①場周・保安道路設計			1.0	1.5	2.0	2.0	1.0				1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	
②消防水利施設設計			1.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5			1.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.5
③場周柵設計			1.5	1.5	1.5	1.5	6.5	2.5			1.0	1.5	1.5	1.5	6.5	2.5
施工計画		4.5	5.5	12.0	18.5	18.5	11.5	2.5		4.0	5.0	11.0	17.5	17.5	11.0	2.5
概算数量算出			4.0	5.5	11.0	11.0	8.0				3.5	5.0	10.5	10.5	7.5	
概算工事費算定		2.5	3.0	5.0	8.0	8.5	8.0			2.5	2.5	4.5	7.5	8.0	8.0	
計	7.5	25.0	41.0	65.5	92.5	80.0	61.5	31.0	6.5	21.5	37.5	61.0	89.0	76.0	57.5	31.0

- 注) ① 特殊な計算を要する切土・盛土構造解析、調節池、調整池、場外排水路の設計及び仮橋等の特殊な仮設物の設計は、見積り等により別途積算する。
 ② 上記の標準歩掛りの中で必要としない設計区分（現地調査を除く）がある場合には、その設計区分の歩掛りを減じるとともに施工計画、概算数量算出、概算工事費算定の歩掛りについても比例計算により減じる。
 ③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の補正
 用地造成面積による補正は、次式の補正係数(a)を乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{100}} \quad A: \text{設計用地造成面積 (ha)}$$

正

4-3 標準歩掛
 4-3-1 基本設計
 1. 用地造成基本設計
 1) 用地造成 100ha 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計								一般的な業務内容の設計							
	直接人件費								直接人件費							
	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工
現地調査		3.5	4.5	4.5						3.0	4.5	4.0				
用地造成設計																
①平面縦横断設計	3.5	3.0	2.5	5.0	7.5	7.5	4.0		3.0	2.5	2.5	5.0	7.5	7.0	3.5	
②全体土工量の検討		2.0	1.5	2.0	4.0	2.0	2.0			1.5	1.5	2.0	4.0	2.0	1.5	
③ゾーニングの検討			1.0	2.0	2.0	0.5					1.0	2.0	1.5	0.5		
④切盛土構造設計	4.0	4.0	6.0	10.0	16.0	10.0	8.5		3.5	3.5	5.5	9.5	15.5	9.5	8.0	
排水設計		5.5	9.5	14.0	19.5	16.5	10.0			4.5	8.5	13.0	19.0	16.0	9.0	
附帯施設設計																
①場周・保安道路設計			1.0	1.5	2.0	2.0	1.0				1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	
②消防水利施設設計			1.0	2.5	2.5	2.0	2.0				1.0	2.0	2.5	2.0	1.5	
③場周柵設計			1.5	1.5	1.5	1.5	6.5				1.0	1.5	1.5	1.5	6.5	
施工計画		4.5	5.5	12.0	18.5	18.5	11.5			4.0	5.0	11.0	17.5	17.5	11.0	
概算数量算出			4.0	5.5	11.0	11.0	8.0				3.5	5.0	10.5	10.5	7.5	
概算工事費算定		2.5	3.0	5.0	8.0	8.5	8.0			2.5	2.5	4.5	7.5	8.0	8.0	
計	7.5	25.0	41.0	65.5	92.5	80.0	61.5		6.5	21.5	37.5	61.0	89.0	76.0	57.5	

- 注) ① 特殊な計算を要する切土・盛土構造解析、調節池、調整池、場外排水路の設計及び仮橋等の特殊な仮設物の設計は、見積り等により別途積算する。
 ② 上記の標準歩掛りの中で必要としない設計区分（現地調査を除く）がある場合には、その設計区分の歩掛りを減じるとともに施工計画、概算数量算出、概算工事費算定の歩掛りについても比例計算により減じる。
 ③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の補正
 用地造成面積による補正は、次式の補正係数(a)を乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{100}} \quad A: \text{設計用地造成面積 (ha)}$$

該当頁

第2部
11

誤

2. 舗装基本設計

舗装基本設計は、下記 1) -(1)と 1) -(2)、1) -(3)、1) -(4)の組合せにより積算する。

1) -(1) 舗装 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
設計条件の設定		1.0	1.5	2.0					1.0	1.5	1.5			
舗装構造設計			1.0	2.0	2.0	2.0	1.5			1.0	2.0	2.0	1.5	1.5
計		1.0	2.5	4.0	2.0	2.0	1.5		1.0	2.5	3.5	2.0	1.5	1.5

注 ① 空港舗装構造設計要領によらない特殊な設計を行う場合は、見積り等により別途積算する。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 滑走路 2 km 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査			1.5	1.5						1.5	1.5			
平面縦横断設計			1.5	2.5	2.0	1.5	2.5			1.5	2.0	2.0	1.5	2.5
概算数量算出					1.5	1.5	1.0					1.5	1.5	0.5
概算工事費算定				1.5	1.5					1.5	1.5			
計			3.0	5.5	5.0	3.0	2.5			3.0	5.0	5.0	3.0	2.5

注 ① ※印（現地調査）は、舗装基本設計を単独で発注する場合に計上する。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(3) 誘導路 1 km 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査			1.5	2.0						1.5	1.5			
平面縦横断設計			2.0	2.5	3.5	2.0	5.5			2.0	2.0	3.5	2.0	5.5
概算数量算出					1.0	1.5	1.5					1.0	1.5	1.5
概算工事費算定				1.0	2.0	2.0	1.5			1.0	1.5	2.0	1.5	
計			3.5	5.5	6.5	5.5	5.5			3.5	4.5	6.0	5.5	5.5

注 ① ※印（現地調査）は、舗装基本設計を単独で発注する場合に計上する。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(4) エプロン 30,000 m² 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査			1.5	1.5						1.5	1.5			
平面縦横断設計			1.0	2.0	2.0	1.5	2.0			1.0	2.0	2.0	1.0	2.0
概算数量算出					1.5	1.5	1.0					1.5	1.0	0.5
概算工事費算定				1.5	1.5					1.5	1.5			
計			2.5	5.0	5.0	3.0	2.0			2.5	5.0	5.0	2.0	2.0

注 ① ※印（現地調査）は、舗装基本設計を単独で発注する場合に計上する。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

正

2. 舗装基本設計

舗装基本設計は、下記 1) -(1)と 1) -(2)、1) -(3)、1) -(4)の組合せにより積算する。

1) -(1) 舗装 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
設計条件の設定		1.0	1.5	2.0					1.0	1.5	1.5			
舗装構造設計			1.0	2.0	2.0	2.0	1.5			1.0	2.0	2.0	1.5	1.5
計		1.0	2.5	4.0	2.0	2.0	1.5		1.0	2.5	3.5	2.0	1.5	1.5

注 ① 空港舗装構造設計要領によらない特殊な設計を行う場合は、見積り等により別途積算する。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 滑走路 2 km 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査			1.5	1.5						1.5	1.5			
平面縦横断設計			1.5	2.5	2.0	1.5	2.5			1.5	2.0	2.0	1.5	2.5
概算数量算出					1.5	1.5	1.0					1.5	1.5	0.5
概算工事費算定				1.5	1.5					1.5	1.5			
計			3.0	5.5	5.0	3.0	2.5			3.0	5.0	5.0	3.0	2.5

注 ① ※印（現地調査）は、舗装基本設計を単独で発注する場合に計上する。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(3) 誘導路 1 km 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査			1.5	2.0						1.5	1.5			
平面縦横断設計			2.0	2.5	3.5	2.0	5.5			2.0	2.0	3.5	2.0	5.5
概算数量算出					1.0	1.5	1.5					1.0	1.5	1.5
概算工事費算定				1.0	2.0	2.0	1.5			1.0	1.5	2.0	1.5	
計			3.5	5.5	6.5	5.5	5.5			3.5	4.5	6.0	5.5	5.5

注 ① ※印（現地調査）は、舗装基本設計を単独で発注する場合に計上する。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(4) エプロン 30,000 m² 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査			1.5	1.5						1.5	1.5			
平面縦横断設計			1.0	2.0	2.0	1.5	2.0			1.0	2.0	2.0	1.0	2.0
概算数量算出					1.5	1.5	1.0					1.5	1.0	0.5
概算工事費算定				1.5	1.5					1.5	1.5			
計			2.5	5.0	5.0	3.0	2.0			2.5	5.0	5.0	2.0	2.0

注 ① ※印（現地調査）は、舗装基本設計を単独で発注する場合に計上する。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

該当頁

第 2 部

12

誤

2) 標準歩掛表の補正

舗装面積による補正は、次式の補正係数 (a) を上記 1) - (2)~1) - (4)の標準歩掛りに乗じる。

滑走路 $a = \sqrt{\frac{L}{2}}$ L:設計滑走路長(km)

誘導路 $a = \sqrt{L}$ L:設計誘導路長(km)

エプロン $a = \sqrt{\frac{A}{30,000}}$ A:設計エプロン面積(m²)

3. 道路及び駐車場基本設計

道路及び駐車場設計は、下記 1) - (1)と 1) - (2)の組合わせにより積算する。

橋梁構造、立体駐車場等の特殊な設計を要する場合は、見積り等により別途積算する。

1) - (1) 道路及び駐車場 1 業務当り標準歩掛表

(単位:人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
設計条件の設定		1.0	2.0	2.0					1.0	1.5	2.0			
舗装構造設計				1.5	1.5	0.5	2.5				1.5	1.5	0.5	2.5
計		1.0	2.0	3.5	1.5	0.5	2.5		1.0	1.5	3.5	1.5	0.5	2.5

注) ① 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

正

2) 標準歩掛表の補正

舗装面積による補正は、次式の補正係数 (a) を上記 1) - (2)~1) - (4)の標準歩掛りに乗じる。

滑走路 $a = \sqrt{\frac{L}{2}}$ L:設計滑走路長(km)

誘導路 $a = \sqrt{L}$ L:設計誘導路長(km)

エプロン $a = \sqrt{\frac{A}{30,000}}$ A:設計エプロン面積(m²)

3. 道路及び駐車場基本設計

道路及び駐車場設計は、下記 1) - (1)と 1) - (2)の組合わせにより積算する。

橋梁構造、立体駐車場等の特殊な設計を要する場合は、見積り等により別途積算する。

1) - (1) 道路及び駐車場 1 業務当り標準歩掛表

(単位:人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
設計条件の設定		1.0	2.0	2.0					1.0	1.5	2.0			
舗装構造設計				1.5	1.5	0.5					1.5	1.5	0.5	
計		1.0	2.0	3.5	1.5	0.5			1.0	1.5	3.5	1.5	0.5	

注) ① 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

該当頁

第 2 部
13

誤

1) -(2) 道路及び駐車場 10,000 m²当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計								
	直接人件費							直接人件費								
	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員		
※現地調査			2.0	2.0						2.0	1.5					
平面縦横断設計			2.0	2.5	3.5	2.5	2.0	9.0			2.0	2.5	3.0	2.5	2.0	9.0
排水設計				2.0	3.5	2.5	1.5	4.5				2.0	3.5	2.0	1.5	4.5
附帯構造物設計				1.5	2.0	1.5	1.5	3.5				1.5	1.5	1.5	1.5	3.5
植栽設計			3.0	4.0	5.5	2.5		2.5			3.0	3.5	5.0	2.5		2.5
概算数量算出			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0				2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	
概算工事費算定			2.0	2.0	3.5	3.5	3.5				2.0	2.0	3.5	3.0	3.0	
計			11.0	16.0	20.0	14.5	10.5	19.5			11.0	14.5	18.5	13.5	10.0	19.5

- 注) ① ※印(現地調査)は、道路及び駐車場設計を単独で発注する場合に計上する。
 ② 附帯構造物とは、道路小構造物等をいう。
 ③ 植栽とは、街路樹、中央分離帯植栽、芝等をいい、シンボルゾーン・植栽文字等特殊な植栽については、見積り等により別途積算する。
 ④ 上記の標準歩掛りの中で必要としない設計区分(現地調査を除く)がある場合には、その設計区分の歩掛りを減じるとともに概算数量算出、概算工事費算定の歩掛りについても比例計算により減じる。
 ⑤ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛の補正

道路及び駐車場面積による補正は、次式の補正係数(a)を上記1) -(2)道路及び駐車場 10,000 m²当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{10,000}} \quad A: \text{設計道路及び駐車場面積(m}^2\text{)}$$

正

1) -(2) 道路及び駐車場 10,000 m²当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計							一般的な業務内容の設計							
	直接人件費							直接人件費							
	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
※現地調査			2.0	2.0						2.0	1.5				
平面縦横断設計			2.0	2.5	3.5	2.5	2.0			2.0	2.5	3.0	2.5	2.0	
排水設計				2.0	3.5	2.5	1.5				2.0	3.5	2.0	1.5	
附帯構造物設計				1.5	2.0	1.5	1.5				1.5	1.5	1.5	1.5	
植栽設計			3.0	4.0	5.5	2.5				3.0	3.5	5.0	2.5		
概算数量算出			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0				2.0	1.5	2.0	2.0	2.0
概算工事費算定			2.0	2.0	3.5	3.5	3.5				2.0	2.0	3.5	3.0	3.0
計			11.0	16.0	20.0	14.5	10.5			11.0	14.5	18.5	13.5	10.0	

- 注) ① ※印(現地調査)は、道路及び駐車場設計を単独で発注する場合に計上する。
 ② 附帯構造物とは、道路小構造物等をいう。
 ③ 植栽とは、街路樹、中央分離帯植栽、芝等をいい、シンボルゾーン・植栽文字等特殊な植栽については、見積り等により別途積算する。
 ④ 上記の標準歩掛りの中で必要としない設計区分(現地調査を除く)がある場合には、その設計区分の歩掛りを減じるとともに概算数量算出、概算工事費算定の歩掛りについても比例計算により減じる。
 ⑤ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛の補正

道路及び駐車場面積による補正は、次式の補正係数(a)を上記1) -(2)道路及び駐車場 10,000 m²当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{10,000}} \quad A: \text{設計道路及び駐車場面積(m}^2\text{)}$$

該当頁

第2部
14

誤

4-3-2 実施設計

1. 用地造成実施設計

1) 用地造成 30ha 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計							軽易な業務内容の設計						
	直接人件費						製図費 図工	直接人件費						製図費 図工
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
※現地調査		3.0	2.0	2.0					2.5	2.0	2.0			
平面縦横断設計	3.0	2.5	5.0	8.5	7.5	6.0	20.5	3.0	2.0	4.5	8.0	7.5	6.0	20.5
切盛土構造設計		3.5	5.5	9.5	8.5	3.0	1.0		2.5	5.5	9.0	8.0	2.5	1.0
附帯施設設計														
①場周・保安道路設計			1.0	2.0	2.0	1.5	1.5			1.0	2.0	1.5	1.5	1.5
②消防水利施設設計			1.5	2.0	2.0	1.0	1.0			1.5	2.0	2.0	0.5	1.0
③場周柵設計				1.5	1.5		1.0				1.5	1.5		1.0
地下排水及び法面排水設計			1.0	2.0	2.0	2.0	1.0			1.0	2.0	2.0	1.5	1.0
施工計画		5.0	9.5	15.5	15.0	9.0	5.5		4.5	9.0	14.5	14.0	8.5	5.5
数量計算			2.5	3.0	3.0	6.0				2.5	3.0	2.5	5.5	
計	3.0	14.0	28.0	46.0	41.5	28.5	31.5	3.0	11.5	27.0	44.0	39.0	26.0	31.5

- 注) ① 特殊な計算を要する切土・盛土構造解析、調節池、調整池、場外排水路の設計及び仮橋等の特殊な仮設物の設計は、見積り等により別途積算する。
 ② 応力計算を要する擁壁等の設計は、4-3-2. 11. 「その他の設計業務等積算基準」 に基づき別途積算する。
 ③ 平面・縦横断設計を要する工事用道路は、見積り等により別途積算する。
 ④ 上記の標準歩掛りの中で必要としない設計区分（現地調査を除く）がある場合には、その設計区分の歩掛りを減じるとともに施工計画、数量計算の歩掛りについても比例計算により減じる。
 ⑤ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の修正

用地造成面積による補正は、次式の補正係数(a)を乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{30}}$$

A: 用地造成面積 (ha)

正

4-3-2 実施設計

1. 用地造成実施設計

1) 用地造成 30ha 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計							軽易な業務内容の設計						
	直接人件費						製図費 図工	直接人件費						製図費 図工
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	
※現地調査		3.0	2.0	2.0					2.5	2.0	2.0			
平面縦横断設計	3.0	2.5	5.0	8.5	7.5	6.0		3.0	2.0	4.5	8.0	7.5	6.0	
切盛土構造設計		3.5	5.5	9.5	8.5	3.0			2.5	5.5	9.0	8.0	2.5	
附帯施設設計														
①場周・保安道路設計			1.0	2.0	2.0	1.5				1.0	2.0	1.5	1.5	
②消防水利施設設計			1.5	2.0	2.0	1.0				1.5	2.0	2.0	0.5	
③場周柵設計				1.5	1.5						1.5	1.5		
地下排水及び法面排水設計			1.0	2.0	2.0	2.0				1.0	2.0	2.0	1.5	
施工計画		5.0	9.5	15.5	15.0	9.0		4.5	9.0	14.5	14.0	8.5		
数量計算			2.5	3.0	3.0	6.0				2.5	3.0	2.5	5.5	
計	3.0	14.0	28.0	46.0	41.5	28.5		3.0	11.5	27.0	44.0	39.0	26.0	

- 注) ① 特殊な計算を要する切土・盛土構造解析、調節池、調整池、場外排水路の設計及び仮橋等の特殊な仮設物の設計は、見積り等により別途積算する。
 ② 応力計算を要する擁壁等の設計は、4-3-2. 11. 「その他の設計業務等積算基準」 に基づき別途積算する。
 ③ 平面・縦横断設計を要する工事用道路は、見積り等により別途積算する。
 ④ 上記の標準歩掛りの中で必要としない設計区分（現地調査を除く）がある場合には、その設計区分の歩掛りを減じるとともに施工計画、数量計算の歩掛りについても比例計算により減じる。
 ⑤ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の修正

用地造成面積による補正は、次式の補正係数(a)を乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{30}}$$

A: 用地造成面積 (ha)

該当頁

第 2 部
15

誤

2. 滑走路実施設計

滑走路実施設計は、下記 1) -(1)と 1) -(2)の組合せにより積算する。

1) -(1) 滑走路 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						製図費 図 工	軽易な業務内容の設計						製図費 図 工
	直接人件費							直接人件費						
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員		技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
設計条件の設定		1.5	2.0	2.0				1.5	1.5	2.0				
舗装設計		2.0	4.5	10.0	3.5	3.5	2.5	1.5	4.5	10.0	3.0	3.0	2.5	
計		3.5	6.5	12.0	3.5	3.5	2.5	3.0	6.0	12.0	3.0	3.0	2.5	

- 注) ① 空港舗装構造設計要領によらない特殊な設計を行う場合は、見積り等により別途積算する。
 ② 既に設計条件が決定している場合は、設計条件の設定を計上しない。
 ③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 滑走路 2 km (幅 30mを超える場合) 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						製図費 図 工	軽易な業務内容の設計						製図費 図 工
	直接人件費							直接人件費						
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員		技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
※現地調査		2.0	2.0	1.5				2.0	2.0	1.0				
平面縦横断設計		3.5	6.0	8.0	14.0	18.0	18.0	3.0	5.5	7.5	13.0	17.0	18.0	
数量計算			6.5	10.0	13.0	11.5			6.5	9.0	12.0	11.0		
計		5.5	14.5	19.5	27.0	29.5	18.0	5.0	14.0	17.5	25.0	28.0	18.0	

- 注) ① ※印 (現地調査) は、滑走路の設計を単独で発注する場合に計上する。
 ② 供用空港において滑走路を延長する際、摺付け土工、排水施設の改良等が必要となる場合は、見積り等により別途積算する。
 ③ 滑走路拡幅設計は、見積り等により別途積算する。
 ④ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の補正

(1) 幅員による補正は、次表の通りとする。

滑走路 (m)	補正率 (%)
30m以下	-10

(2) 滑走路長による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)滑走路 2 km当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{L}{2}} \quad L: \text{設計滑走路長 (km)}$$

正

2. 滑走路実施設計

滑走路実施設計は、下記 1) -(1)と 1) -(2)の組合せにより積算する。

1) -(1) 滑走路 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						製図費 図 工	軽易な業務内容の設計						製図費 図 工
	直接人件費							直接人件費						
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員		技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
設計条件の設定		1.5	2.0	2.0				1.5	1.5	2.0				
舗装設計		2.0	4.5	10.0	3.5	3.5		1.5	4.5	10.0	3.0	3.0		
計		3.5	6.5	12.0	3.5	3.5		3.0	6.0	12.0	3.0	3.0		

- 注) ① 空港舗装構造設計要領によらない特殊な設計を行う場合は、見積り等により別途積算する。
 ② 既に設計条件が決定している場合は、設計条件の設定を計上しない。
 ③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 滑走路 2 km (幅 30mを超える場合) 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						製図費 図 工	軽易な業務内容の設計						製図費 図 工
	直接人件費							直接人件費						
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員		技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
※現地調査		2.0	2.0	1.5				2.0	2.0	1.0				
平面縦横断設計		3.5	6.0	8.0	14.0	18.0		3.0	5.5	7.5	13.0	17.0		
数量計算			6.5	10.0	13.0	11.5			6.5	9.0	12.0	11.0		
計		5.5	14.5	19.5	27.0	29.5		5.0	14.0	17.5	25.0	28.0		

- 注) ① ※印 (現地調査) は、滑走路の設計を単独で発注する場合に計上する。
 ② 供用空港において滑走路を延長する際、摺付け土工、排水施設の改良等が必要となる場合は、見積り等により別途積算する。
 ③ 滑走路拡幅設計は、見積り等により別途積算する。
 ④ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の補正

(1) 幅員による補正は、次表の通りとする。

滑走路 (m)	補正率 (%)
30m以下	-10

(2) 滑走路長による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)滑走路 2 km当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{L}{2}} \quad L: \text{設計滑走路長 (km)}$$

該当頁

第 2 部
16

誤

3. 滑走路嵩上実施設計

滑走路嵩上実施設計は、下記 1) -(1)と 1) -(2)の組合わせにより積算する。

1) -(1) 滑走路嵩上 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※既設舗装の構造評価		2.5	4.5	5.0				2.0	4.5	5.0		
嵩上舗装設計		2.5	4.5	5.0	2.0			1.5	4.0	5.5	2.0	2.0
計		5.0	9.0	10.0	2.0			3.5	8.5	10.5	2.0	2.0

- 注) ① ※印 (既設舗装の構造評価) は、必要により計上する。
 ② 応力計算が必要な埋設構造物補強設計は、見積り等により別途積算する。
 ③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 滑走路嵩上 2 km 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査		2.0	2.0	1.5				2.0	2.0	1.0		
平面縦横断設計		5.0	8.5	9.0	9.5	21.5		4.5	8.0	8.0	8.5	21.0
数量計算			5.0	10.0	16.5	12.0			4.5	9.5	16.0	11.5
計		7.0	15.5	20.5	26.0	33.5		6.5	14.5	18.5	24.5	32.5

- 注) ① ※印 (現地調査) は、滑走路嵩上設計を単独で発注する場合に計上する。
 ② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の補正

滑走路長による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)滑走路嵩上 2 km 当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{L}{2}} \quad L: \text{設計滑走路長 (km)}$$

正

3. 滑走路嵩上実施設計

滑走路嵩上実施設計は、下記 1) -(1)と 1) -(2)の組合わせにより積算する。

1) -(1) 滑走路嵩上 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※既設舗装の構造評価		2.5	4.5	5.0				2.0	4.5	5.0		
嵩上舗装設計		2.5	4.5	5.0	2.0			1.5	4.0	5.5	2.0	
計		5.0	9.0	10.0	2.0			3.5	8.5	10.5	2.0	

- 注) ① ※印 (既設舗装の構造評価) は、必要により計上する。
 ② 応力計算が必要な埋設構造物補強設計は、見積り等により別途積算する。
 ③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 滑走路嵩上 2 km 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査		2.0	2.0	1.5				2.0	2.0	1.0		
平面縦横断設計		5.0	8.5	9.0	9.5	21.5		4.5	8.0	8.0	8.5	21.0
数量計算			5.0	10.0	16.5	12.0			4.5	9.5	16.0	11.5
計		7.0	15.5	20.5	26.0	33.5		6.5	14.5	18.5	24.5	32.5

- 注) ① ※印 (現地調査) は、滑走路嵩上設計を単独で発注する場合に計上する。
 ② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の補正

滑走路長による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)滑走路嵩上 2 km 当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{L}{2}} \quad L: \text{設計滑走路長 (km)}$$

該当頁

第 2 部
17

誤

4. 誘導路実施設計

誘導路実施設計は、下記 1) -(1)と 1) -(2)の組合せにより積算する。

1) -(1) 誘導路 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
設計条件の設定		1.0	1.0	1.5				0.5	1.5	1.0		
舗装設計			4.5	7.5	3.5	2.5			4.5	7.5	3.0	2.0
計		1.0	5.5	9.0	3.5	2.5		0.5	6.0	8.5	3.0	2.0

注) ① 空港舗装構造設計要領によらない特殊な設計を行う場合は、見積り等により別途積算する。

② 既に設計条件が決定している場合は、設計条件の設定を計上しない。

③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 誘導路 1 km当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査		2.0	1.5	1.5				2.0	1.0	1.5		
平面縦横断設計		2.5	3.0	6.0	8.5	11.5		2.5	2.5	5.5	8.0	11.0
数量計算			5.0	9.0	9.0	7.5			4.5	8.5	8.5	7.0
計		4.5	9.5	16.5	17.5	19.0		4.5	8.0	15.5	16.5	18.0

注) ① ※印（現地調査）は、誘導路の設計を単独で発注する場合に計上する。

② 供用空港において誘導路を新設する際、摺付け土工、排水施設の改良等が必要となる場合は、見積り等により別途積算する。

③ 誘導路拡幅設計は、見積り等により別途積算する。

④ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の補正

誘導路長による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)誘導路 1 km当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{L} \quad L: \text{設計誘導路長 (km)}$$

正

4. 誘導路実施設計

誘導路実施設計は、下記 1) -(1)と 1) -(2)の組合せにより積算する。

1) -(1) 誘導路 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
設計条件の設定		1.0	1.0	1.5				0.5	1.5	1.0		
舗装設計			4.5	7.5	3.5	2.5			4.5	7.5	3.0	2.0
計		1.0	5.5	9.0	3.5	2.5		0.5	6.0	8.5	3.0	2.0

注) ① 空港舗装構造設計要領によらない特殊な設計を行う場合は、見積り等により別途積算する。

② 既に設計条件が決定している場合は、設計条件の設定を計上しない。

③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 誘導路 1 km当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査		2.0	1.5	1.5				2.0	1.0	1.5		
平面縦横断設計		2.5	3.0	6.0	8.5	11.5		2.5	2.5	5.5	8.0	11.0
数量計算			5.0	9.0	9.0	7.5			4.5	8.5	8.5	7.0
計		4.5	9.5	16.5	17.5	19.0		4.5	8.0	15.5	16.5	18.0

注) ① ※印（現地調査）は、誘導路の設計を単独で発注する場合に計上する。

② 供用空港において誘導路を新設する際、摺付け土工、排水施設の改良等が必要となる場合は、見積り等により別途積算する。

③ 誘導路拡幅設計は、見積り等により別途積算する。

④ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の補正

誘導路長による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)誘導路 1 km当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{L} \quad L: \text{設計誘導路長 (km)}$$

該当頁

第 2 部
18

誤

5. 誘導路嵩上実施設計

誘導路嵩上実施設計は、下記 1) -(1)と 1) -(2)の組合わせにより積算する。

1) -(1) 誘導路嵩上 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※既設舗装の構造評価		1.5	3.5	3.0				1.5	3.0	2.5		
嵩上舗装設計		1.0	3.0	3.5	1.5			1.0	3.0	3.5	1.0	1.5
計		2.5	6.5	6.5	1.5			2.5	6.0	6.0	1.0	1.5

- 注) ① ※印 (既設舗装の構造評価) は、必要により計上する。
 ② 応力計算が必要な埋設構造物補強設計は、見積り等により別途積算する。
 ③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 誘導路嵩上 1 km 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査		2.0	1.5	1.5				2.0	1.5	1.0		
平面縦横断設計		3.0	6.5	8.0	7.0	12.5		2.5	6.0	7.5	6.5	12.0
数量計算			3.5	8.5	12.5	9.5			3.0	8.0	12.0	9.0
計		5.0	11.5	18.0	19.5	22.0		4.5	10.5	16.5	18.5	21.0

- 注) ① ※印 (現地調査) は、誘導路嵩上設計を単独で発注する場合に計上する。
 ② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の補正

誘導路長による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)誘導路嵩上 1 km 当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{L} \quad L: \text{設計誘導路長 (km)}$$

正

5. 誘導路嵩上実施設計

誘導路嵩上実施設計は、下記 1) -(1)と 1) -(2)の組合わせにより積算する。

1) -(1) 誘導路嵩上 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※既設舗装の構造評価		1.5	3.5	3.0				1.5	3.0	2.5		
嵩上舗装設計		1.0	3.0	3.5	1.5			1.0	3.0	3.5	1.0	
計		2.5	6.5	6.5	1.5			2.5	6.0	6.0	1.0	

- 注) ① ※印 (既設舗装の構造評価) は、必要により計上する。
 ② 応力計算が必要な埋設構造物補強設計は、見積り等により別途積算する。
 ③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 誘導路嵩上 1 km 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査		2.0	1.5	1.5				2.0	1.5	1.0		
平面縦横断設計		3.0	6.5	8.0	7.0	12.5		2.5	6.0	7.5	6.5	12.0
数量計算			3.5	8.5	12.5	9.5			3.0	8.0	12.0	9.0
計		5.0	11.5	18.0	19.5	22.0		4.5	10.5	16.5	18.5	21.0

- 注) ① ※印 (現地調査) は、誘導路嵩上設計を単独で発注する場合に計上する。
 ② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

2) 標準歩掛表の補正

誘導路長による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)誘導路嵩上 1 km 当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{L} \quad L: \text{設計誘導路長 (km)}$$

該当頁

第 2 部
19

誤

6. エプロン実施設計

エプロン実施設計は、下記 1) - (1) と 1) - (2) の組合わせにより積算する。

1) - (1) エプロン 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
設計条件の設定			1.5	1.5					1.5	1.0		
舗装設計		3.0	5.0	6.5	3.5	2.5		3.0	5.0	6.0	3.0	2.0
計		3.0	6.5	8.0	3.5	2.5		3.0	6.5	7.0	3.0	2.0

注) ① 上記の標準歩掛りは、コンクリート舗装に適用する。アスファルト舗装の場合には、4.

- 1) - (1) 誘導路 1 業務当り標準歩掛りにより積算する。
- ② 空港舗装構造設計要領によらない特殊な設計を行う場合は、見積り等により別途積算する。
- ③ 既に設計条件が決定している場合は、設計条件の設定を計上しない。
- ④ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) - (2) エプロン 30,000 m²当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査		2.0	1.5	1.0				2.0	1.0	1.5		
平面縦横断設計		2.0	2.5	2.0	3.0	4.0		1.5	2.5	2.0	3.0	3.5
附帯構造物設計			2.0	5.0	5.5			2.0	4.5	5.0		
数量計算			3.5	8.0	9.5	6.0		3.0	7.5	9.0	5.5	
計		4.0	9.5	16.0	18.0	10.0		3.5	8.5	15.5	17.0	9.0

注) ① 上記の標準歩掛りは、コンクリート舗装に適用する。アスファルト舗装の場合には、見積り等により別途積算する。

- ② ※印（現地調査）は、エプロンの設計を単独で発注する場合に計上する。
- ③ 附帯構造物とは、アースリング、タイダウンリング、表面排水溝等の小構造物をいう。
- ④ 標準的な荷重条件のランプ車両通行帯等の設計では、ランプ車両通行帯等の面積をエプロン面積に加え、上記標準歩掛りにより積算する。
- ⑤ 供用空港においてエプロンを拡張する際、摺付け土工、排水施設の改良等が必要となる場合は、見積り等により別途積算する。
- ⑥ 上記の標準歩掛りの中で必要としない設計区分（現地調査を除く）がある場合には、その設計区分の歩掛りを減じるとともに、数量計算の歩掛りについても比例計算により減じる。
- ⑦ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

正

6. エプロン実施設計

エプロン実施設計は、下記 1) - (1) と 1) - (2) の組合わせにより積算する。

1) - (1) エプロン 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
設計条件の設定			1.5	1.5					1.5	1.0		
舗装設計		3.0	5.0	6.5	3.5	2.5		3.0	5.0	6.0	3.0	2.0
計		3.0	6.5	8.0	3.5	2.5		3.0	6.5	7.0	3.0	2.0

注) ① 上記の標準歩掛りは、コンクリート舗装に適用する。アスファルト舗装の場合には、4.

- 1) - (1) 誘導路 1 業務当り標準歩掛りにより積算する。
- ② 空港舗装構造設計要領によらない特殊な設計を行う場合は、見積り等により別途積算する。
- ③ 既に設計条件が決定している場合は、設計条件の設定を計上しない。
- ④ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) - (2) エプロン 30,000 m²当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査		2.0	1.5	1.0				2.0	1.0	1.5		
平面縦横断設計		2.0	2.5	2.0	3.0	4.0		1.5	2.5	2.0	3.0	3.5
附帯構造物設計			2.0	5.0	5.5			2.0	4.5	5.0		
数量計算			3.5	8.0	9.5	6.0		3.0	7.5	9.0	5.5	
計		4.0	9.5	16.0	18.0	10.0		3.5	8.5	15.5	17.0	9.0

注) ① 上記の標準歩掛りは、コンクリート舗装に適用する。アスファルト舗装の場合には、見積り等により別途積算する。

- ② ※印（現地調査）は、エプロンの設計を単独で発注する場合に計上する。
- ③ 附帯構造物とは、アースリング、タイダウンリング、表面排水溝等の小構造物をいう。
- ④ 標準的な荷重条件のランプ車両通行帯等の設計では、ランプ車両通行帯等の面積をエプロン面積に加え、上記標準歩掛りにより積算する。
- ⑤ 供用空港においてエプロンを拡張する際、摺付け土工、排水施設の改良等が必要となる場合は、見積り等により別途積算する。
- ⑥ 上記の標準歩掛りの中で必要としない設計区分（現地調査を除く）がある場合には、その設計区分の歩掛りを減じるとともに、数量計算の歩掛りについても比例計算により減じる。
- ⑦ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

該当頁

第 2 部
20

誤

2) 標準歩掛表の補正

2) - 1 エプロン面積による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) - (2)エプロン 30,000 m²当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{30,000}} \quad A: \text{設計エプロン面積(m}^2\text{)}$$

2) - 2 連続鉄筋コンクリート舗装及びプレストレスコンクリート舗装の場合は、上記 1) - (2)エプロン 30,000 m²当り標準歩掛りを 10%割増す。

7. エプロン嵩上実施設計

エプロン嵩上実施設計は、下記 1) - (1)と 1) - (2)の組合わせにより積算する。
本歩掛は、アスファルト舗装による嵩上に適用する。

1) - (1) エプロン嵩上 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※既設舗装の構造評価		1.5	3.5	3.0				1.5	3.0	3.0		
嵩上舗装設計		1.0	2.0	3.0	1.0			1.0	2.0	2.5	1.0	
計		2.5	5.5	6.0	1.0			2.5	5.0	5.5	1.0	

- 注) ① ※印 (既設舗装の構造評価) は、必要により計上する。
② 応力計算が必要な埋設構造物補強設計は、見積り等により別途積算する。
③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) - (2) エプロン嵩上 30,000 m²当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査		2.0	1.5	1.5				2.0	1.0	1.5		
平面縦横断設計		3.0	5.0	5.5	5.0	6.5		3.0	4.5	5.0	5.0	6.0
数量計算			3.0	8.0	8.0	6.5			2.5	8.0	7.5	6.0
計		5.0	9.5	15.0	13.0	13.0		5.0	8.0	14.5	12.5	12.0

- 注) ① ※印 (現地調査) は、エプロン嵩上設計を単独で発注する場合に計上する。
② 上記の標準歩掛りには、応力計算を要さない附帯構造物設計を含む。
③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

正

2) 標準歩掛表の補正

2) - 1 エプロン面積による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) - (2)エプロン 30,000 m²当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{30,000}} \quad A: \text{設計エプロン面積(m}^2\text{)}$$

2) - 2 連続鉄筋コンクリート舗装及びプレストレスコンクリート舗装の場合は、上記 1) - (2)エプロン 30,000 m²当り標準歩掛りを 10%割増す。

7. エプロン嵩上実施設計

エプロン嵩上実施設計は、下記 1) - (1)と 1) - (2)の組合わせにより積算する。
本歩掛は、アスファルト舗装による嵩上に適用する。

1) - (1) エプロン嵩上 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※既設舗装の構造評価		1.5	3.5	3.0				1.5	3.0	3.0		
嵩上舗装設計		1.0	2.0	3.0	1.0			1.0	2.0	2.5	1.0	
計		2.5	5.5	6.0	1.0			2.5	5.0	5.5	1.0	

- 注) ① ※印 (既設舗装の構造評価) は、必要により計上する。
② 応力計算が必要な埋設構造物補強設計は、見積り等により別途積算する。
③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) - (2) エプロン嵩上 30,000 m²当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
※現地調査		2.0	1.5	1.5				2.0	1.0	1.5		
平面縦横断設計		3.0	5.0	5.5	5.0	6.5		3.0	4.5	5.0	5.0	6.0
数量計算			3.0	8.0	8.0	6.5			2.5	8.0	7.5	6.0
計		5.0	9.5	15.0	13.0	13.0		5.0	8.0	14.5	12.5	12.0

- 注) ① ※印 (現地調査) は、エプロン嵩上設計を単独で発注する場合に計上する。
② 上記の標準歩掛りには、応力計算を要さない附帯構造物設計を含む。
③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

該当頁

第 2 部
21

誤

2) 標準歩掛表の補正

エプロン面積による補正は、次式の補正係数(a)を上記1) -(2)エプロン嵩上 30,000 m²当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{30,000}}$$

A:設計エプロン面積(m²)

8. 道路及び駐車場実施設計

道路及び駐車場実施設計は、下記1) -(1)と1) -(2)の組合せにより積算する。

橋梁構造、立体駐車場等の特殊な設計を要する場合は、見積り等により別途積算する。

1) -(1) 道路及び駐車場 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計							軽易な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工
設計条件の設定		2.0	2.5	1.5					2.0	2.0	1.5			
舗装設計			2.5	3.0	3.0	4.0	3.5			2.5	2.5	2.5	4.0	3.5
計		2.0	5.0	4.5	3.0	4.0	3.5		2.0	4.5	4.0	2.5	4.0	3.5

注) ① 既に設計条件が決定している場合は、設計条件の設定を計上しない。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 道路及び駐車場 10,000 m²当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計							軽易な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工
※現地調査		2.0	1.5	1.0					2.0	1.0	1.5			
平面縦横断設計	2.5	3.0	6.5	7.5	6.5	5.5	6.5	2.0	2.5	6.0	7.5	6.5	5.0	6.5
排水設計		3.5	4.0	6.0	5.0	2.5	5.0		3.0	4.0	6.0	4.5	2.0	5.0
附帯構造物設計			1.0	1.5	1.0	0.5	1.0			1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
植栽設計		1.5	3.0	3.0	5.0	2.0	3.5		1.5	2.5	3.0	5.0	2.0	3.5
標識設計			1.5	1.5	2.0		2.5			1.5	1.5	1.5		2.5
数量計算		3.0	4.0	10.5	11.0	8.0			2.0	3.5	10.0	10.5	7.5	
計	2.5	13.0	21.5	31.0	30.5	18.5	18.5	2.0	11.0	19.5	30.5	29.0	17.5	18.5

注) ① ※印(現地調査)は、道路及び駐車場の設計を単独で発注する場合に計上する。

② 附帯構造物とは、道路小構造物等をいう。

③ 植栽とは、街路樹、中央分離帯植栽、芝等をいい、シンボルゾーン・植栽文字等特殊な植栽の設計は、見積り等により別途積算する。

④ 標識とは、路面標識及び力学的計算を必要としない規制標識等をいい、力学的計算を必要とする標識の設計は、見積り等により別途積算する。

⑤ 上記の標準歩掛りの中で必要としない設計区分(現地調査を除く)がある場合には、その設計区分の歩掛りを減じるとともに数量計算の歩掛りについても比例計算により減じる。

⑥ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

正

2) 標準歩掛表の補正

エプロン面積による補正は、次式の補正係数(a)を上記1) -(2)エプロン嵩上 30,000 m²当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{30,000}}$$

A:設計エプロン面積(m²)

8. 道路及び駐車場実施設計

道路及び駐車場実施設計は、下記1) -(1)と1) -(2)の組合せにより積算する。

橋梁構造、立体駐車場等の特殊な設計を要する場合は、見積り等により別途積算する。

1) -(1) 道路及び駐車場 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計							軽易な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工
設計条件の設定		2.0	2.5	1.5					2.0	2.0	1.5			
舗装設計			2.5	3.0	3.0	4.0				2.5	2.5	2.5	4.0	
計		2.0	5.0	4.5	3.0	4.0			2.0	4.5	4.0	2.5	4.0	

注) ① 既に設計条件が決定している場合は、設計条件の設定を計上しない。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 道路及び駐車場 10,000 m²当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計							軽易な業務内容の設計						
	直接人件費							直接人件費						
	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	製図費 図工
※現地調査		2.0	1.5	1.0					2.0	1.0	1.5			
平面縦横断設計	2.5	3.0	6.5	7.5	6.5	5.5	6.5	2.0	2.5	6.0	7.5	6.5	5.0	6.5
排水設計		3.5	4.0	6.0	5.0	2.5	5.0		3.0	4.0	6.0	4.5	2.0	5.0
附帯構造物設計			1.0	1.5	1.0	0.5	1.0			1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
植栽設計		1.5	3.0	3.0	5.0	2.0	3.5		1.5	2.5	3.0	5.0	2.0	3.5
標識設計			1.5	1.5	2.0		2.5			1.5	1.5	1.5		2.5
数量計算		3.0	4.0	10.5	11.0	8.0			2.0	3.5	10.0	10.5	7.5	
計	2.5	13.0	21.5	31.0	30.5	18.5	18.5	2.0	11.0	19.5	30.5	29.0	17.5	18.5

注) ① ※印(現地調査)は、道路及び駐車場の設計を単独で発注する場合に計上する。

② 附帯構造物とは、道路小構造物等をいう。

③ 植栽とは、街路樹、中央分離帯植栽、芝等をいい、シンボルゾーン・植栽文字等特殊な植栽の設計は、見積り等により別途積算する。

④ 標識とは、路面標識及び力学的計算を必要としない規制標識等をいい、力学的計算を必要とする標識の設計は、見積り等により別途積算する。

⑤ 上記の標準歩掛りの中で必要としない設計区分(現地調査を除く)がある場合には、その設計区分の歩掛りを減じるとともに数量計算の歩掛りについても比例計算により減じる。

⑥ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

該当頁

第2部
22

誤

2) 標準歩掛表の補正

道路及び駐車場面積による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)道路及び駐車場 10,000 m²当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{10,000}} \quad A: \text{設計道路及び駐車場面積 (m}^2\text{)}$$

9. 場周・保安道路実施設計

場周・保安道路実施設計は、単独で発注する場合に適用し、下記 x) -(1)と 1) -(2)の組合せにより積算する。

橋梁設計等が必要な場合は、見積り等により別途積算する。

1) -(1) 場周・保安道路 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
設計条件の設定		1.0	0.5	1.5				1.0	0.5	1.5		
舗装設計			1.0	2.0	0.5	2.0			1.0	2.0		2.0
計		1.0	1.5	3.5	0.5	2.0		1.0	1.5	3.5		2.0

注) ① 既に設計条件が決定されている場合は、設計条件の設定を計上しない。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 場周・保安道路 1 km当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
現地調査		1.0	0.5	0.5				0.5	1.0	0.5		
平面縦横断設計			2.5	4.0	5.0	2.5	3.5		2.5	4.0	4.5	2.0
数量計算				1.0	2.0	2.0				1.0	2.0	1.5
計		1.0	3.0	5.5	7.0	4.5	3.5		3.5	5.5	6.5	3.5

注) ① 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

正

2) 標準歩掛表の補正

道路及び駐車場面積による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)道路及び駐車場 10,000 m²当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{10,000}} \quad A: \text{設計道路及び駐車場面積 (m}^2\text{)}$$

9. 場周・保安道路実施設計

場周・保安道路実施設計は、単独で発注する場合に適用し、下記 1) -(1)と 1) -(2)の組合せにより積算する。

橋梁設計等が必要な場合は、見積り等により別途積算する。

1) -(1) 場周・保安道路 1 業務当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
設計条件の設定		1.0	0.5	1.5				1.0	0.5	1.5		
舗装設計			1.0	2.0	0.5				1.0	2.0		
計		1.0	1.5	3.5	0.5			1.0	1.5	3.5		

注) ① 既に設計条件が決定されている場合は、設計条件の設定を計上しない。

② 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

1) -(2) 場周・保安道路 1 km当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計					
	直接人件費						直接人件費					
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
現地調査		1.0	0.5	0.5				0.5	1.0	0.5		
平面縦横断設計			2.5	4.0	5.0	2.5		2.5	4.0	4.5	2.0	
数量計算				1.0	2.0	2.0				1.0	2.0	1.5
計		1.0	3.0	5.5	7.0	4.5		3.5	5.5	6.5	3.5	

注) ① 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

該当頁

第 2 部
23

誤

2) 標準歩掛表の補正

場周・保安道路長による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)場周・保安道路 1 km 当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{L} \quad L: \text{設計場周} \cdot \text{保安道路長 (km)}$$

10. 排水実施設計

1) 排水基本設計の修正

本歩掛りは、排水実施設計に先立って排水基本設計の見直しが必要な場合に適用する。

(1) 排水基準設計修正標準歩掛り 4-3-1. 1. 1) 用地造成設計の排水設計による。

(2) 標準歩掛の補正

I) 排水基本設計の面積による補正は、次式による補正係数(a)を乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{100}} \quad A: \text{排水基本設計全面積}$$

II) 排水基本設計の修正率による補正は、次表の歩掛補正係数(b)を乗じる。

歩掛補正係数表

排水基本設計の修正率(%)	歩掛補正係数
10~30	0.2
31~60	0.4
61~80	0.5
81~100	0.6

注)排水基本設計の修正率(%) = $\frac{\text{修正面積}}{\text{排水基本設計全面積}} \times 100$
ただし、小数点以下四捨五入

正

2) 標準歩掛表の補正

場周・保安道路長による補正は、次式の補正係数(a)を上記 1) -(2)場周・保安道路 1 km 当り標準歩掛りに乗じる。

$$a = \sqrt{L} \quad L: \text{設計場周} \cdot \text{保安道路長 (km)}$$

10. 排水実施設計

1) 排水基本設計の修正

本歩掛りは、排水実施設計に先立って排水基本設計の見直しが必要な場合に適用する。

(1) 排水基準設計修正標準歩掛り 4-3-1. 1. 1) 用地造成設計の排水設計による。

(2) 標準歩掛の補正

I) 排水基本設計の面積による補正は、次式による補正係数(a)を乗じる。

$$a = \sqrt{\frac{A}{100}} \quad A: \text{排水基本設計全面積}$$

II) 排水基本設計の修正率による補正は、次表の歩掛補正係数(b)を乗じる。

歩掛補正係数表

排水基本設計の修正率(%)	歩掛補正係数
10~30	0.2
31~60	0.4
61~80	0.5
81~100	0.6

注)排水基本設計の修正率(%) = $\frac{\text{修正面積}}{\text{排水基本設計全面積}} \times 100$
ただし、小数点以下四捨五入

該当頁

第 2 部
24

誤

2) 排水実施設計

排水実施設計は、下記(1)、(2)の組合わせにより積算する。

(1) 平面・縦横断 1 km 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計						
	直接人件費						直接人件費						
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
※現地調査			1.0	0.5					0.5	1.0			
平面縦横断設計		1.0	1.5	2.0				1.0	1.5	2.0			4.5
数量計算				2.5	3.0	5.5				2.0	3.0	5.0	
計		1.0	2.5	5.0	3.0	5.5		1.0	2.0	5.0	3.0	5.0	4.5

注) ① ※印 (現地調査) は、排水実施設計を単独で発注する場合に計上する。

② 上記の標準歩掛りには、力学的な計算を必要としないU字溝、皿型排水溝等小構造の排水施設が含まれる。

③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

(2) 管渠・開渠設計

(2)-① 管渠 1 断面当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計						
	直接人件費						直接人件費						
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
設計計画			0.5						0.5				
応力計算			0.5	1.0	0.5				0.5	0.5	1.0		
設計図				0.5	1.0	0.5			0.5	0.5	1.0	0.5	
数量計算等					1.0	2.0				0.5	2.0		
照査				0.5					0.5				
計			1.0	2.0	2.5	2.5			1.0	1.5	2.0	3.0	0.5

注) 基礎及び仮設設計が必要な場合は、別途積算する。

(2)-② 開渠 1 断面当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計						
	直接人件費						直接人件費						
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
設計計画			0.5						0.5				
応力計算			1.0	2.0					1.0	1.5			
設計図			1.0	1.0					0.5	1.5			2.0
数量計算等				1.0	1.5	2.5				1.0	1.5	2.0	
照査			0.5	1.0					0.5	1.0			
計			3.0	5.0	1.5	2.5			2.5	5.0	1.5	2.0	2.0

注) 基礎及び仮設設計が必要な場合は、別途積算する。

11. その他の設計業務等積算基準

第 2 部 設計業務等積算基準に記載なきものは、「設計業務等標準積算基準書 設計業務等標準積算基準書 (参考資料) 国土交通省」を準用する。

正

2) 排水実施設計

排水実施設計は、下記(1)、(2)の組合わせにより積算する。

(1) 平面・縦横断 1 km 当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計						
	直接人件費						直接人件費						
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
※現地調査			1.0	0.5					0.5	1.0			
平面縦横断設計		1.0	1.5	2.0				1.0	1.5	2.0			
数量計算				2.5	3.0	5.5				2.0	3.0	5.0	
計		1.0	2.5	5.0	3.0	5.5		1.0	2.0	5.0	3.0	5.0	

注) ① ※印 (現地調査) は、排水実施設計を単独で発注する場合に計上する。

② 上記の標準歩掛りには、力学的な計算を必要としないU字溝、皿型排水溝等小構造の排水施設が含まれる。

③ 上記歩掛りには、照査を含んでいる。

(2) 管渠・開渠設計

(2)-① 管渠 1 断面当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計						
	直接人件費						直接人件費						
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
設計計画			0.5						0.5				
応力計算			0.5	1.0	0.5				0.5	0.5	1.0		
設計図				0.5	1.0	0.5				0.5	0.5	1.0	
数量計算等					1.0	2.0				0.5	2.0		
照査				0.5					0.5				
計			1.0	2.0	2.5	2.5			1.0	1.5	2.0	3.0	

注) 基礎及び仮設設計が必要な場合は、別途積算する。

(2)-② 開渠 1 断面当り標準歩掛表

(単位：人)

職 種 区 分	一般的な業務内容の設計						軽易な業務内容の設計						
	直接人件費						直接人件費						
	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
設計計画			0.5						0.5				
応力計算			1.0	2.0					1.0	1.5			
設計図			1.0	1.0					0.5	1.5			
数量計算等				1.0	1.5	2.5				1.0	1.5	2.0	
照査			0.5	1.0					0.5	1.0			
計			3.0	5.0	1.5	2.5			2.5	5.0	1.5	2.0	

注) 基礎及び仮設設計が必要な場合は、別途積算する。

11. その他の設計業務等積算基準

第 2 部 設計業務等積算基準に記載なきものは、「設計業務等標準積算基準書 設計業務等標準積算基準書 (参考資料) 国土交通省」を準用する。

該当頁

第 2 部
25